



サステナブルな 未来のために 2023

～近江八幡市SDGs・MLGs取組事例集～



サステナブルな未来のために 2023

～近江八幡市SDGs・MLGs取組事例集～



はじめに

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、平成27年 (2015年) 9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際目標であり、2030年に向けた17の目標と169のターゲット、232の指標で構成されています。SDGsの基本理念は、「誰一人取り残さない」ことであり、国や人種、性別に関係なく、世界中の全ての人々が幸せになるためにはどうすればよいのか、経済・社会・環境をめぐる課題にどのように向き合えばよいのか、私たちに問いかけています。そして、SDGsの目標達成にあたっては、一人一人が自分ごととして考え、実践を深めていく必要があります。

このたび、琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ (MLGs)」の視点も含めた、新しい取組事例集を発行することで、SDGsをより身近に感じ、更なる理解と実践に繋がれることを期待しています。MLGsのキーコンセプトは、「変えよう、あなたと私から」です。最初は小さなことであっても、共に積み重ねていくことで社会全体に大きな変化をもたらし、ひいては、誰一人取り残さない持続可能社会の実現へと繋がります。

皆さんの描く未来は、どんな姿でしょうか。そのためには、今、何ができるでしょうか。本書には、SDGsやMLGsに取り組む人々による「サステナブルな未来」のための取組が詰まっています。自分自身を見つめ、そして周囲を見つめ、日々の暮らしや将来について考えるきっかけやヒントとなれば幸いです。



マザーレイクゴールズ (MLGs) とは

マザーレイクゴールズ (MLGs) とは、令和3年 (2021年) 7月1日に策定された琵琶湖版のSDGsであり、琵琶湖を切り口とした2030年の持続可能社会に向けた13の目標です。琵琶湖やその暮らしを通じてSDGsをアクションまで落とし込む仕組みがMLGsであり、MLGsの取組はSDGsの達成に繋がっています。

近江八幡市では、令和4年 (2022年) 5月26日付けでMLGsへの賛同宣言を行い、連携・協働を推進しています。

MLGs公式WEBサイト <https://mlgs.shiga.jp>



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から



MLGsの13のゴール ～琵琶湖と琵琶湖に根ざす暮らしに向けて～



1. 清らかさを感じる水に

アオコや赤潮などのプランクトンの異常発生が抑制され、飲料水としても問題がなく、思わず触れたいような清らかな水が維持される



2. 豊かな魚介類を取り戻そう

在来魚介類の生息環境が改善し、資源量・漁獲量が増加するとともに、人々が湖魚料理を日常的に楽しむ



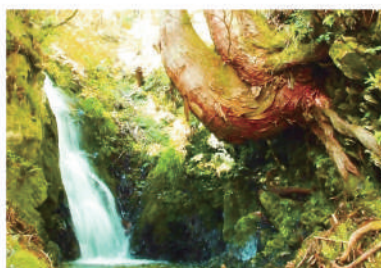
3. 多様な生き物を守ろう

生物多様性や生態系のバランスを取り戻す取組が拡大し、野生生物の生息状況が改善するとともに、自然の恵みを実感する人が増加する



4. 水辺も湖底も美しく

川や湖にごみがなく、砂浜や水生植物などが適切に維持・管理され、誰もが美しいと感じられる水辺景観が守られる



5. 恵み豊かな水源の森を守ろう

水源涵養や生態系保全、木材生産、レクリエーションなどの多面的機能が持続的に発揮される森林づくりが進み、人々が地元の森林の恵みを持続的に享受する



6. 森川里湖海のつながりを健全に

森から湖、海に至る水や物質のつながりが健全に保たれ、湖と川、内湖、田んぼなどを行き来する生き物が増加する



7. びわ湖のためにも 温室効果ガスの排出を減らそう

日常生活や事業活動から排出される温室効果ガスを減らす取組が広がり、琵琶湖の全層循環未完了などの異変の進行が抑えられる



8. 気候変動や自然災害に強い暮らしに

豪雨や渇水、温暖化などの影響を把握・予測し、そうした事態が起きても大きな被害を受けない暮らしへの転換が進む



9. 生業・産業に地域の資源を活かそう

地域の自然の恵みを活かした商品や製品、サービスが積極的に選ばれ、地域内における経済循環が活性化し、ひいては環境が持続的に守られる



10. 地元も流域も学びの場に

琵琶湖や流域、自分が生活する地域を環境学習のフィールドとして体験・実践する機会が豊富に提供され、関心を行動に結びつけられる人が増加する





11.びわ湖を楽しむ 愛する人を増やそう

レジャーやエコツーリズムなどを通じて自然を楽しむ様々な機会が増え、琵琶湖への愛着が育まれる



11.水とつながる 祈りと暮らしを次世代に

水を敬い、水を巧みに生活の中に取り込む文化や、水が育む生業や食文化が、将来世代へと着実に継承される



13.つながりあって 目標を達成しよう

年代や性別、所属、経験、価値観などが異なる人同士、また異なる地域に住まう人同士がつながり、琵琶湖や流域の現状、これからについて対話を積み重ね、その成果を共有できる機会が十分に提供される



(五十音順)

No. 1	アインズ株式会社	P 1
No. 2	特定非営利活動法人碧いびわ湖	P 3
No. 3	株式会社安土産業	P 5
No. 4	ヴォーリスの森環境サポーターズ	P 7
No. 5	近江八幡児童合唱団スキップ	P 9
No. 6	沖島漁業協同組合	P 11
No. 7	株式会社CARAVAN	P 13
No. 8	NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)	P 15
No. 9	湖島婦貴の会	P 17
No. 10	齋木産業株式会社	P 19
No. 11	里山みんなの未来くらぶ	P 21
No. 12	西の湖・蛇砂川いきもの観察・調査の会	P 23
No. 13	西の湖プロジェクト	P 25
No. 14	8 meets (はちみ〜つ)	P 27
No. 15	株式会社日吉	P 29
No. 16	FREE BYRD	P 31
No. 17	まるやまの自然と文化を守る会	P 33
No. 18	株式会社ユニクロ近江八幡店	P 35



SDGs



MLGs



私たちの取組

SDGsの視点から見ると、琵琶湖を通じてSDGsを個人のアクションまで落とし込む仕組みがMLGs。MLGsの取組は、SDGsの達成に貢献するものです。

マザーレイクゴールズ (MLGs) の視点から見ると、琵琶湖を通じて、私たちの取組がSDGsに繋がっていることを発見する仕組みです。

No.1 アインズ株式会社



所在地：蒲生郡竜王町鏡2291-3
 電話番号：0748-58-8101
 E-mail：eins@shiga-web.or.jp
 HP-SNS：https://www.shiga-web.or.jp/eins/



環境にやさしい印刷に取り組む



私たちは、「時代が求めるコミュニケーションツールでお客様に唯一無二の価値を提供します」を経営理念とし、従来の印刷だけでなく、商品開発、販促支援、デジタルコンテンツの提供、地域クラウドファンディング、キャリアユニット（人材紹介）等、事業を拡げてまいりました。

2017年にSDGs宣言、2021年にMLGs宣言を実施し、環境にやさしい印刷手法の導入（水なし印刷）や、琵琶湖の環境整備に役立てる寄付金付印刷用紙、「緑化推進事業への募金付卓上カレンダー」などの商品販売を行ってきました。最近では、世界で起きている「海洋プラスチック」の問題を受け、「脱プラ印刷」の推進に取り組んでいます。これからも印刷という文化が地球と永く共存していける世界を目指していきます。

私たちのSDGs・MLGs



アインズMLGs大賞を実施

全社員を対象にMLGsにまつわる個人目標と、その目標に向けて起こした「私のアクション」を募集する参加型イベント、アインズMLGs大賞を実施しました。「MLGsやSDGsのようなゴールの目標達成」というと難しく考えてしまいがちですが、MLGsの「Think globally, act locally（地球規模で考え、地域で行動する）」の考え方をもとに、社員一人ひとりが無理なく続けられる「持続可能な」目標設定を呼びかけました。

手法としてMLGsとSDGsのゴールシールを作成し個人目標シートに貼ることで、自分のアクションとのつながりを「見える化」し、実感を得られるような仕組みにしました。

- Step1：MLGsの概念を学ぶ
- Step2：MLGs「13の目標」から自分の目標を決める
- Step3：MLGsとSDGs「17の目標」を繋げる
- Step4：自分の目標に対する活動を行う
- Step5：自分の取組を発表して社内に広める

2021年度では106件の応募の中から大賞を決定、2022年度も開催し、社員全員で取組を実施しています。



▲個人目標シート



▲2021年度アインズMLGs大賞表彰式

一人ひとりの小さな行動が大きな変化につながります。
 無理なく続けられる持続可能な目標を日常にプラスしてみませんか？

No.2 特定非営利活動法人碧いびわ湖



所在地：近江八幡市安土町下豊浦
 電話番号：0748-46-4551
 E-mail：info@aoibiwako.org
 HP・SNS：https://aoibiwako.org/



“子どもと湖が笑ってる未来へ”



私たちは、滋賀県内で地域に根ざした助け合いや経済活動を実践する市民組織（NPO）です。琵琶湖の周りで、さまざまな仲間とのネットワークによって活動を進めています。身近にある豊かな自然環境のなかで、ひとり・ひとりの「生きる力」を引き出し、他者と関わり、共に生きることをおう歌したいと考えます。

1977年にはじまった草の根住民運動「琵琶湖のせっけん運動」を受け継ぎ、◎買いものづくり、◎資源循環、◎住まいづくり、◎遊び場・学びの場・居場所づくり、◎ネットワークづくり などを行っています。

私たちのSDGs・MLGs



資源循環の暮らしづくり

碧いびわ湖では、「琵琶湖のせっけん運動」を受け継ぎ、家庭から出る使用済み食用油を回収し、それをリサイクルしたせっけんを使用する取組をつづけています。また、牛乳（紙）パックを捨てずに集めて、ティッシュペーパーやトイレットロールに再生して共同購入する取組も行っています。地域の古紙回収事業者や、小売店、学校・園、福祉作業所などと連携して活動しています。

住まいが変われば、暮らしが変わる

碧いびわ湖では、戸別合併浄化槽の設置運動にはじまり、太陽熱温水器の設置や、雨水タンクの利用、薪ストーブ等（木質バイオマス）の活用、ヨシズの利用などを行っています。

近江八幡市内での資源循環のまちづくり



地球環境問題がいよいよ待ったナシの状況です。でも、私たちが暮らす滋賀県近江八幡市には、古くから自然と共生した暮らしや、琵琶湖を守るための住民活動があります。子どもたちと共に自然のなかで遊び、持続可能な暮らしをつくっていきましょう。

No.3 株式会社安土産業



所在地：近江八幡市浅小井町55番地
 電話番号：0748-46-3286
 E-mail：info@azuchi-s.com
 HP・SNS：https://azuchisangyo.jp



化学繊維及び不織布の加工、販売 繊維屑、樹脂原料の再資源化



▲事業所外観

1978年に滋賀県安土町（現近江八幡市）で創業。化学繊維メーカーの生産・加工工程で出る不織布等の「副産物」をリサイクルや新たな用途へ開発する会社。自社トラック業務も27台稼働。

2021年には滋賀県日野町に敷地約10,000坪の自社工場を竣工。プラスチックのマテリアルリサイクルに取り組んでいます。

私たちのSDGs・MLGs



真の循環型社会形成にむけて

1. 省エネルギー、省資源に努め、環境負荷を低減します。
2. 事業活動に伴う廃棄物の削減と再資源化を促進するとともに、汚染の予防に努めます。
3. 環境保全に対する全従業員の意識向上を図り、企業をあげて環境保全活動に取り組みます。
4. 地域社会における環境保全活動への協力・支援を推進します。
5. 環境に配慮した物品の購入を促進します。



▲自社トラック



▲大塚倉庫前

当社はSDGs宣言を行い、リサイクル事業を基に資源の循環型を目指した取組を続けてまいります。

従業員へは近隣河川の清掃活動等を含めた環境教育を実施し、働きがいのある企業を目指します。

No.4 ヴォーリスの森環境サポーターズ



所在地：近江八幡市北之庄町 ヴォーリス学園
北之庄校地ヴォーリスの森
電話番号：090-8346-3236（代表者）
E-mail：Voriesnomori@gmail.com
HP・SNS：FB「ヴォーリスの森」で検索

西の湖は世界につながっている！



私たちは、学校法人ヴォーリス学園が北之庄校地に所有する環境教育施設「ヴォーリスの森」の環境維持を支援する仲間です。会員登録制ではありませんが、15名程度がサポーターとして関わっています。

かつては近江兄弟社小学校環境教育施設「兄弟社村」でしたが、2020年より「ヴォーリスの森」と改名、環境教育施設として再整備を自力建設で行ってきました。施設概要：まなびの小屋、記念樹の森、星の観測広場、陶芸穴窯、雑木林、香りの庭、畑、水田など

*施設の運営・管理は、ランドスケープデザイン・アトリエ風が、学校法人ヴォーリス学園より委託を受けています。

私たちのSDGs・MLGs



ヒントは、足元に転がっている！

ヴォーリスの森において自主講座（手仕事ワークショップなど）や自然観察会、環境を考える会（ちえのわの会）など多様な活動を行っています。

*日常的な活動：畑・水田・雑木林などの活用と維持管理、敷地周辺の清掃

*ヴォーリスの森講座：概ね隔月で開催

今までの講座：野染め、まちの絵地図を描く、羊の毛刈り＆毛つむぎ、野焼き
陶芸など

*自然観察会：月一度、北之庄沢～西の湖一帯をフィールドとしています。

*MLGsワークショップ企画・共催

①西の湖環境スタディーツアー×自然の中でのまなびCafe（2022年2月6日）

②水辺のエコロジーフットパス計画 in 西の湖（2022年6月～3回）

*香りの庭づくり（環境省主催、第15回みどり香るまちづくり企画コンテスト受賞、2021年2月）

*その他：施設は教育活動・講座などの会場として一般利用可能です。
（ご相談下さい）



▲西の湖ヨシ原湿地自然探検

▲野染めワークショップ

世界のさまざまな出来事や人々のことを想像しよう。
世界へ思いを馳せ、まずは自分の身近な場所から・継続してできることを探してみよう。

誰のためでもなく、自分のために楽しんでやってみることが大切です。
「ヒントは、みなさんの足元に転がっています！」

No.5 近江八幡児童合唱団スキップ



所在地：近江八幡市江頭町973
電話番号：0748-36-8004
(北里コミュニティセンター)

わたしたちは近江八幡児童合唱団スキップです



近江八幡市唯一の児童合唱団である「近江八幡児童合唱団スキップ」は、小・中・高校生を中心とし、一部卒業生も含む24名程度で合唱活動を行っています。月3回程度、北里他市内コミュニティセンターで歌を練習しています。

滋賀県少年少女合唱連盟・近江八幡市音楽連盟に加盟し、各連盟の合唱祭や音楽祭に出演する他、合唱団独自の定期演奏会の開催を行っています。また、依頼に応じて慰問等の地域活動も行っています。

令和4年度からは、滋賀県が推進するマザーレイクゴールズ活動に参画し、琵琶湖について自ら学ぶとともに、県民の皆様への周知に寄与したいと努めています。

私たちのSDGs・MLGs



「マザーレイクゴールズのうた」で琵琶湖について学ぼう

MLGs合唱担当であるスキップが歌う「マザーレイクゴールズのうた」をご存知でしょうか。この歌は、琵琶湖周航の歌のメロディを基調として、歌詞にMLGsの13のゴールがすべて盛り込まれた歌です。今も県下各地に流れ、皆さんにMLGsの意味を伝えていきます。

MLGs賛同団体でもあるスキップの子どもたちは、歌の収録前にはMLGs講座を受講し、全員で琵琶湖への学びを深めて問題意識を共有しました。

また、令和4年11月3日には、近江八幡市立健康ふれあい公園で行われたMLGs体操イベントに参加し、MLGs広報大使の伊藤みきさんらの体操をバックコーラスで盛り上げ、参加者らと楽しく意識を高めました。

子どもたちは、今日も楽しく歌いながら、美しい琵琶湖の未来へと繋がる活動を続けています。



▲健康ふれあい公園5周年フェスティバル（令和4年11月3日）
MLGs広報大使の伊藤みきさん、ミサアース滋賀、滋賀県の皆さんとMLGs体操をしました。

団員は皆、年齢差を超えて仲が良く、兄弟姉妹のように活動しています。専門講師の指導により日々高い歌唱技術や音楽センスを磨いています。

現在、スキップは団員募集中です。ぜひ私たちと一緒に「MLGsのうた」を歌いませんか？

No.6 沖島漁業協同組合



所在地：近江八幡市沖島町43
電話番号：0748-33-9511
HP・SNS：http://www.biwako-okishima.com



琵琶湖の恵みに感謝し、琵琶湖とともに生きる



沖島漁業協同組合は、島内の漁業全体を取りまとめる組織として発足し、島内世帯数の約85%の世帯が加入しています。令和4年4月時点で、正組合員数は71名、準組合員数は36名です。

組合では、琵琶湖漁業全体の約4割の漁獲量を揚げており、漁の形態としては、漁船で行うものが主で、そのほとんどは夫婦で行っています。小型定置網（えり）、沖曳網、刺網、沖すくい網漁などにより、アユ、ワカサギ、スジエビ、ニゴロブナ、ウロリ（ゴリ）、イサザ、ビワマスなど、様々な湖魚を水揚げしています。

私たちのSDGs・MLGs



恵み豊かな琵琶湖を次世代に

沖島漁業協同組合では、母なる琵琶湖に感謝し、琵琶湖の恵みを次世代に受け継いでいくために、環境保全活動の一環として、沖島周辺の湖岸清掃や入り網ごみの回収を行っています。

操業中の漁網に混入、あるいは意図せず船上に引き揚げたごみ（入り網ごみ）については、自主的に陸まで持ち帰った場合、漁業者自身に処理が任されることも多い中、令和3年5月、沖島に県下初の湖底ごみ回収ボックスが設置され、県や市と連携・調整の上、入り網ごみの回収を続けています。

恵み豊かな琵琶湖を次世代へと繋いでいくため、水辺も湖底も美しくあるよう、私たちにできることをしています。



▲回収された入り網ごみ
（プラスチックの包装材等）

▼湖底ごみ回収ボックス
（漁業会館横（倉庫側）に設置）



近年、沖島でも高齢化が進み、後継者問題は年々深刻化しています。先祖から受け継いできた沖島の漁業を守り、琵琶湖の恵みを未来へと繋いでいくため、若手漁師の育成、外来魚の捕獲や活用、種苗放流や資源管理型漁業など、琵琶湖とともにある暮らしの継承に努めています。
琵琶湖の恵みに感謝し、今日も漁に出ています。

No.7 株式会社CARAVAN



所在地：近江八幡市仲屋町中21
(近江八幡まちや倶楽部内)

HP・SNS：https://www.instagram.com/richlabel_832/



Rich Label 832 — 蜂蜜の新ブランド —



株式会社CARAVANの手掛ける蜂蜜ブランド、「Rich Label 832」は蜂蜜に軸足を置いて新しいライフスタイルを提案していきます。

また、商いを通じてまちづくりにも力を入れています。旧市街地にあたる八幡堀のすぐ近く、昔ながらの元酒蔵を改装した素敵な複合施設内に店舗を構え、地元商店街との繋がりを大切に、地域を盛り上げる施策を重ねています。

私たちのSDGs・MLGs



蜂蜜を砂糖に並ぶ甘味料へ

蜂蜜は、同じ甘味料である砂糖に比べ、GI値（血糖値指数）が低く太りにくい上、抗菌作用も栄養価も高い優れた甘味料となります。また砂糖の生産は、森林伐採が問題視されることも多々ある現状に比べ、蜂蜜は、ミツバチが農作物の受粉を手伝い、その製造過程で地球と人間社会の共存に大きく貢献しています。

しかし、珈琲や紅茶、料理には、砂糖を使用するのが一般的です。問題は価格だけでなく、蜂蜜そのものへの関心が薄い事に大きく起因します。

「Rich Label 832」は、蜂蜜をこれまでとは違ったデザイン、違った売り方、知らなかった蜂蜜の味を市場に提案し、蜂蜜というカテゴリへの関心を高める事に挑戦します。結果として蜂蜜の需要は消費や生産に繋がり、身体健康と持続的な世界を実現します。



▲養蜂の様子



▼Rich label 832

「Rich Label 832」が提供するのは、蜂蜜のオリジナルブレンドです。実は蜂蜜には沢山の種類がありますが、それらを珈琲のブレンドの様に強みを活かし弱みを補う独自のブレンドで販売しています。これまで体験したことのない、はじめての味を楽しんでみませんか。



所在地：大阪府高槻市真上町1-1-18 Insist21-3B
 電話番号：072-601-5109
 E-mail：ivusa.biwako@gmail.com
 HP-SNS：https://www.ivusa.com/



「共に生きる社会」の実現を目指して



IVUSAは、1993年に設立され約80大学2,500名の学生が所属する日本で最も大きな学生ボランティア団体！

学生という立場を活かして、社会の問題の解決に取り組み、活動を通して日本、世界各地の地域の方々と繋がりを作ることで、「共に生きる社会」の実現を目指しています！

私たちは、環境保護、国際協力、地域活性化、災害救援、子どもの教育支援の5つの分野を中心に活動をしており、環境保護では、滋賀県琵琶湖での特定外来水生植物の除去活動などを行っています！



学生の力で琵琶湖を守りたい

琵琶湖は自然豊かで多くの固有種が暮らしています。しかし近年、侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイ（以下オオバナ）の繁殖が問題となっています。オオバナは、2009年に滋賀県守山市の湖岸で確認され、2014年に環境省から特定外来生物に指定されました。繁殖力が非常に強く、生態系や漁業に悪影響を与えています。

IVUSAでは、2013年にオオバナ除去活動を開始。重労働である外来水草除去を高齢者である地元漁師が従事していることを知り「学生の力で琵琶湖を守りたい！」と思ったのが活動のきっかけでした。

これまでの10年間で85回、延べ13,700人（行政・地域・NPO・漁師含む）の除去活動や認知度向上のための学園祭での展示、フォーラムでの発表、リーフレット配布等を行ってきました。

近年、近江八幡市でもオオバナが確認され、IVUSAも2021年より近江八幡市牧町のヨシ植栽地などで、若者のマンパワーを活かして、滋賀県庁、近江八幡市役所のご協力をいただきながら活動を行っています。



▲オオバナ除去活動の様子▶

近江八幡市民の多くの方々にもオオバナを知っていただき、早く発見し、拡がる前に除去して、豊かな琵琶湖の環境を取り戻していきましょう！

これからも学生が一致団結し、マンパワーを発揮しながら除去をし、豊かな琵琶湖を取り戻すために何か貢献できないかを考えていきます！

No.9 湖島婦貴の会



所在地：近江八幡市沖島町43
電話番号：0748-47-8787
HP-SNS：<http://www.biwako-okishima.com>



四季折々の沖島を感じていただけるように



湖島婦貴の会は、沖島漁業協同組合の婦人部により運営しています。かつて、6名ほどの有志が集まり、湖魚の若煮を炊き、島を訪れる皆様に販売したことから始まりました。

「ゆっくり休憩していただける場所があったら…」「沖島の家庭の味に親しんでいただけたら…」との思いから、漁業会館内に場所をお借りし、沖島ならではの料理や物産品を手作りし、販売しています。

私たちのSDGs・MLGs



ひとつひとつ心をこめて手作りしています

新鮮な湖魚やえびを炊き上げる若煮をはじめ、琵琶湖の恵みがたっぷり詰まったお弁当や沖島の物産品など、ひとつひとつ心をこめて手作りしています。

遠方の方には通信販売も行っているほか、県内外の物産展にも出店（不定期）しており、うろりやえび豆、ふなずしなど、沖島で代々受け継がれてきた家庭の味を通して、琵琶湖の伝統や文化を伝えています。

また、沖島の新しい味として、「えび豆コロッケ」が湖島婦貴の会の屋台の定番メニューとなりました。沖島産のじゃがいもとたまねぎに、えびがたっぷり入った沖島名物「えび豆」を丸ごとすりつぶして加えた、えび豆味のコロッケです。沖島を訪れた際には、ぜひ揚げたてアツアツをご賞味ください。



◀沖島のお弁当
琵琶湖で獲れた魚と沖島で育てた野菜を使用しています。
(要予約)

▼沖島漁港
堀切港と沖島漁港を繋ぐ定期船が1日10～12便出ています。

▼えび豆コロッケ



沖島は、日本唯一の淡水湖上に浮かぶ有人島で、世界的にも稀有な存在です。島に息づく暮らしや文化は、沖島ならではのものであり、いつも琵琶湖の恵みとともにあります。

日々の喧騒に疲れた時、ちょっと元気をもらいたい時、沖島の穏やかな景色と人々、沖島の家庭の味に触れ、ほっこりとしていただけたら…と思います。沖島でお待ちしております。



所在地：近江八幡市古川町513

電話番号：0748-34-8221

E-mail：biwapearl2019@gmail.com

HP-SNS：https://biwapearl2019.wixsite.com/mysite



琵琶湖産淡水真珠『琵琶パール』



◀個性豊かな琵琶パール▶

当社は、琵琶湖の内湖である西の湖で、淡水真珠の養殖・販売を行っています。現在、滋賀県内の淡水真珠養殖業者は数件が残りのみとなっており、琵琶湖産の淡水真珠の水揚げ量は非常に少なく、大変貴重なものです。

淡水真珠は形や色がさまざまであり、フォーマルからカジュアルまでシーンを選ばず身につけることができます。とくに「無核真珠」はひとつとして同じ形のものはなく、個性を楽しむことができます。

『琵琶パール』は当社の登録商標であり、琵琶湖産淡水真珠の知名度・ブランド向上のために日々取り組んでいます。

私たちのSDGs・MLGs



淡水真珠は 琵琶湖・西の湖の豊かさ・美しさの象徴

近年、西の湖の水環境では、アオコの発生が大きな問題となっていますが、アオコは淡水真珠貝（イケチョウガイ）の成育にも悪い影響を及ぼしています。

当社は長年、西の湖畔で水環境の変化を見続けてきています。生き物が成育しやすいより良い環境の創生のため、養殖環境や養殖用水の改善のための調査研究に取り組んでいます。

販売に関しては、近年では若者や男性にも真珠の需要が高まってきており、幅広い年齢・性別に人気があります。また真珠だけでなく、天然の模様のきれいな貝殻を加工してアクセサリとすることもでき、デザイナーの方とも提携して取り組んでいるところです。



▲イケチョウガイ

▼西の湖の真珠棚



淡水真珠は、琵琶湖・西の湖の自然の豊かさ・美しさの象徴です。淡水真珠養殖は、地域の資源を活かした生業であり、これを健全に維持していくことは、琵琶湖・西の湖の保全につながると自負して取り組んでいます。

No.11 里山みんなの未来くらぶ



所在地：近江八幡市北津田町1022
 電話番号：0748-32-6913
 E-mail：satoyamamirai22@gmail.com
 HP-SNS：https://satomira.localinfo.jp/



自然のなかで、こどもも大人も育ち合い、 学び合える場



▲みんなで楽しく田植え

びわ湖に近い山に囲まれた島学区で、①豊かな自然環境と里山文化を守っていくこと、②自然に寄り添う循環した暮らしや農法を広め持続可能な社会をつくること、を目的に様々な活動をしています。

特に、未来を担うこどもたちが、自然のなかで遊ぶことを通じて環境意識を高め、ひとと繋がる体験を通じて生きる力を伸ばしていってほしいことを目指して、みんなで楽しく活動しています。

私たちのSDGs・MLGs



自然と人の“生かし合い”の営みを体感！

メインの活動は、自然農法・手作業での米作りです。豊かな土壌環境、多様な生態系を維持するため、農薬や化学肥料は使いません。田んぼは生物多様性を涵養します。私達の田んぼでは季節に応じて様々な生き物に出会えます。米を育てる水は、山からの湧水を大切に使い、その後は綺麗な水をびわ湖に還すことを心がけています。田んぼに立つと、山・里・川・びわ湖という流れが体感できます。田植えや稲刈り等を手作業で協力して行っていますが、小さくても力を合わせれば立派に米が作れるという経験は、石油資源に頼らない、持続可能な食物生産・食物自給について考える機会になります。

また、季節に合わせて保存食作りや竹の活用等のワークショップを開催しています。里山文化は、里地里山の資源を上手く活用する術や、自然に寄り添い心豊かに生きる知恵がいっぱい詰まった宝物です。そのような文化を未来に継承していけるよう努めています。



▲お米炊けたよ！

▼稲刈りの様子



SDGs目標12『つくる責任つかう責任』では、生産と消費のパターンを変えることが求められています。

是非一緒に、普段買っているものを、自分の手で作ってみませんか？

No.12 西の湖・蛇砂川いきもの観察・調査の会



所在地：近江八幡市北之庄町 ヴォーリス学園
北之庄校地ヴォーリスの森内
電話番号：090-8346-3236（代表者）
E-mail：kawai_quercus@ybb.ne.jp

いきもの・人の生活・歴史のつながりの 不思議に満ちている自然がヨシ原湿地の魅力



▲北之庄 沢のヨシ原湿地と八幡山

私たちは、2012年より、西の湖・北之庄沢及び蛇砂川周辺で、自然観察・調査を行っています。

観察会では、自然のいきものだけではなく、地域の人の生活、文化・歴史の関わり等、かつ多面的な視点を大切にしています。観察・調査は月1回開催しています。

西日本を代表する西の湖・北之庄沢のヨシ原湿地は、近江八幡のみならず滋賀の社会資産・市民の宝です。

この優れた自然環境・文化環境をどのように人が持続的に関わり、保全していけば良いのかを考えています。

私たちのSDGs・MLGs



西の湖周辺のヨシ原湿地から世界を見よう！

西の湖・北之庄沢及び蛇砂川周辺の自然観察といきもの調査やミニシンポジウムなどを行っています。

- * 自然観察会：概ね月1回、北之庄沢～西の湖一帯
- * カヌーを利用したヨシ原湿地の観察会とゴミ回収：概ね3回程度／年
- * いきものフィールドマップの作成など
秋冬編2016年発行、春夏編2023年春発行予定
- * ちえのわの会：自然環境と人の関わりを知る勉強会、ただし不定期
過去の会：昆虫の魅力、キノコの魅力、フィールドスケッチのススメなど
- * 小学校などへの地元学習支援



▲西の湖・蛇砂川いきもの観察ガイドマップ 秋・冬編（2016年発行）

自然は不思議なつながりでいっぱいです。
滋賀の自然は世界の自然や不思議につながっています。
皆さんの毎日は世界につながっています。
皆さんの小さな行動が世界を変えます。
皆さんと一緒にすてきな未来を考えたい・伝えたい。

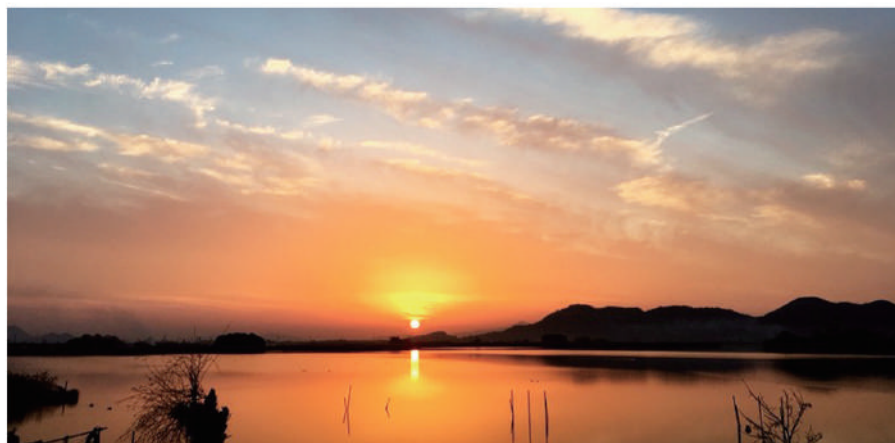
No.13 西の湖プロジェクト



所在地：近江八幡市安土町常楽寺923
E-mail：info@nishinoko-calendar.com
HP・SNS：https://nishinoko-calendar.com/
https://www.instagram.com/nishinoko_project/



西の湖のプラットフォーム



西の湖プロジェクトは、多様な主体が協働して地域資源を最大限に活用するとともに、西の湖周辺の暮らしの中で独自に築き上げられてきた「自然」「生態系」「伝統文化」を尊重した持続可能な取組を続けることで、西の湖の自然と文化を守り、西の湖のすばらしさを広く世界に知らしめることを目的として、西の湖を愛する市民が集まり令和3年9月に設立した市民団体です。

私たちのSDGs・MLGs



四季折々の営みを伝える西の湖カレンダーで魅力を発信し次世代へ！

【取組内容】

- ・西の湖の自然や文化の魅力発信と、西の湖に関するイベント等について、WEBサイト「西の湖カレンダー」で情報を提供します。
- ・西の湖に関わる人々の情報発信と集約、多様な情報を共有します。
- ・景観保全と観光振興につながる事業を実施します。

活動を通じて西の湖の魅力、地域資産であることの認知が広まり、情報の集約化ができ、西の湖周辺の産業振興（ヨシ産業、遊覧船、食事・宿泊、農業体験、地場産物販売等）や、環境や景観への関心が高まり、SDGsを意識した取組につながり、交流人口（主に観光客）や関係人口（地域や地域の人々と多様に関わる地域外の人）の増加が見込めると期待しています。

西の湖を核として安土と近江八幡の架け橋としての役割を担い、西の湖活性化の推進母体となれるよう、今後も創意工夫を重ね、持続可能なまちづくりに貢献できる活動にしたいと思っています。



▲WEBサイト「西の湖カレンダー」▶
滋賀県立大学の学生による特集ページも！

「西の湖カレンダー」という西の湖のプラットフォームを目指したWEBサイトを制作しました。多様な主体と連携し西の湖を中心とした持続可能なまちづくりにつなげたいと思っています。

No.14 8meets (はちみ〜つ)



所在地：近江八幡市北之庄町（活動地域）
代表者：大山 真

伝統野菜「北之庄菜」を未来につなぐ



伝統野菜「北之庄菜」の種を次世代へつなぐ活動をしています。
栽培した北之庄菜は、近江八幡市の学校給食や地元の飲食店に使っていただき、地域の食文化の継承と持続可能な自然環境づくりに寄与することを目的としています。

私たちのSDGs・MLGs



北之庄の原風景を守る

北之庄菜とは

江戸時代末期から昭和30年代頃まで、主に農家の漬物用として北之庄町一帯で栽培されていましたが、残念ながら食生活の変化などの影響で栽培が一時途絶え、次世代に受け継ぐ機会が無くなりました。しかし、地元の方々の努力により復活し「北之庄郷の会（北之庄菜保存会）」が中心に栽培が継続されています。

私たちは「北之庄郷の会」と共に北之庄菜の栽培から出荷まで行い、近江八幡市の学校給食の「はちまんの日」に、北之庄菜を提供させていただいています。また、「北之庄沢を守る会」にも参加し、地域の方々と水郷一帯を清掃することにより、北之庄菜が栽培される周辺の景観・水環境保全活動に取り組んでいます。



次世代を担うこどもたちへ、地元の伝統野菜を通して「郷土愛の種」を心に蒔いていき、食の大切さと北之庄菜の育つ水郷地帯の豊かな自然環境への感謝の気持ちをいつまでも忘れないで欲しいと願います。

No.15 株式会社 日吉



所在地：近江八幡市北之庄町908
 電話番号：0748-32-5111
 E-mail：info@hiyoshi-es.co.jp
 HP-SNS：https://www.hiyoshi-es.co.jp/



環境インフラを支え持続可能な社会を実現



当社は創業以来67年にわたり、時代の変化に伴う環境問題への科学的解決に取り組んできました。

96種の事業許認可と延べ2,000件以上の総資格数を有し、環境分析や衛生検査、施設維持管理、工業薬品販売や廃棄物収集など環境トータルサポートを行っています。事業活動の実施がSDGs（持続可能な社会の実現）に直結しています。



「環境問題に国境なし」の考えのもと、1990年より国際貢献を行っています。2年連続で「日吉寄附講座」を開校しており、受講者がインドにおいて環境対策に取り組むリーダーとなることを期待しています。

私たちのSDGs・MLGs



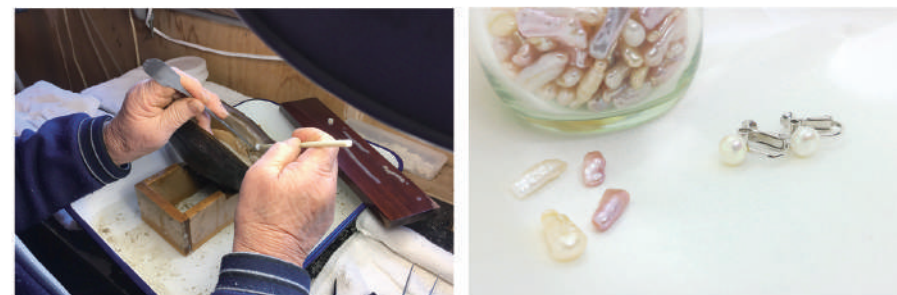
近江商人の理念 三方よし+“次世代よし”の実践



地域に根付く近江商人の理念「三方よし（売り手よし・買い手よし・世間よし）」に“次世代よし”を加えた四方よしを実践しています。

毎年、地域の小学生に環境ごみ学習と題した出前授業を行い、廃棄物収集運搬の仕事における分別の大切さやリサイクルの重要性を伝えています。

琵琶パール®の養殖で地域事業の活性化



西の湖で、グループ会社が淡水真珠及び母貝を養殖しています。水揚げ量も減少し、消滅の危機にある琵琶湖真珠の復活のため、水質調査など水環境を調査する他、地域特産として名を広めるため、販売促進に取り組んでいます。

人々の快適な生活環境を保全し、最適な産業活動を支援することで世の中の課題を技術力で解決していきたい。

そのために、日吉はこれからも時代の変化に対応できる先見性をもって事業展開していきます。

No.16 FREE BYRD



所在地：近江八幡市土田町916-16
 電話番号：090-2382-6197
 E-mail：be.happy.3263@gmail.com
 HP-SNS：https://freebyrd.buyshop.jp
 https://www.instagram.com/free_byrd326/



日々変化する時代の中で私たちの手がける アクセサリーが自然や環境問題を考える きっかけになりますように



大好きな海や山、すばらしい自然をこの先100年後もいつまでもずっと残していくために、今の私にできることは何か？から試行錯誤でスタート。『できることをまずはやってみる』というスタンスで夫婦2人で制作活動をしています。

私たちのSDGs・MLGs



取組内容と大切にしていること

海（ビーチ）に落ちているプラスチックのかけらを集め素材としてアップサイクルしたパーツを使い、ハンドメイドオリジナルアクセサリーを制作しています。

持続可能な未来を考えながら、この美しい自然を残していくために、自分たちにできることを考え行動していきます。

必要のない公共工事で日本に残された素晴らしい自然が壊されていくのを黙って見ていることは出来ません。



▲美しい自然を未来に



▼砂浜で見つけたかけらが生まれ変わる

美しい自然をこれからの未来に残すためには環境問題を意識せざるを得ません。豊かな環境でより良い暮らしをするためには一人一人の力や思いがとても大切で、だからこそ今の自分にできることから始めていく、そうすればどんどん周りも巻き込みながら進んでいけると思います。きっかけはどんなことでもいいので意識を持ち、そして行動することがとても大切です！

No.17 まるやまの自然と文化を守る会



所在地：近江八幡市円山町181
 電話番号：080-4393-1807
 E-mail：miyaoyousuke@gmail.com
 HP・SNS：https://www.i-honky.com/yoshi/group1.asp



『豊葦原千五百秋瑞穂国』という日本の原風景



『豊葦原の千五百秋の瑞穂の国』という日本の美称にもある、ヨシ原と水田が広がる日本の原風景。円山ではその原風景が今なお残されていることが国に認められ、重要文化的景観の栄えある第1号となりました。

円山では、「人」「自然」「生態系」「伝統文化」の調和が独自に築き上げられてきましたが、生活様式の近代化に伴い自然観の希薄化が進み、これまで保たれてきたバランスが崩れつつあります。こうした現状を目の当たりにし、平成30年4月、まるやまの自然と文化を守る会を設立しました。

私たちのSDGs・MLGs



ヨシの活用によるヨシ原の保全

かつては、産業活動を継続する上で必然的に綺麗なヨシ原が維持され、その結果として水質や生物にとってよい環境が維持されてきましたが、今では水質や生物や景観などを保全するためにヨシ原を適正に管理するという考え方も出てきています。

ヨシ原を保全するためにはヨシ刈りやヨシ焼きだけではなく、ヨシの魅力を広め、ヨシ製品の需要を高めることが不可欠と考えており、ヨシを活用することでヨシ原の保全につながるよう幅広く取り組んでいます。

取組の詳細はSNSを活用して発信していますので、是非ご覧ください。



▲ヨシ刈り

Instagram



MARUYOSHI.STAFF

LINE



ヨシの活用が進み多くの人にヨシの魅力が伝われば、ヨシの価値が上がり、ヨシ原を守りたいという意識が醸成されることを期待しています。その結果、ヨシ原が美しく保全されることで、水質保全、生態系保全、景観保全に繋がります。

ヨシに興味を持っていただくことこそが、みなさん一人ひとりができるMLGsの第一歩です。



所在地：近江八幡市鷹飼町北三丁目2-8
 電話番号：0748-31-3697
 HP・SNS：https://www.uniqlo.com/jp/ja/



服のチカラを、社会のチカラに。

ユニクロとSDGs



よい服をつくり、よい服を売ることで、世界をよい方向へ変えていくことができる。私たちは、そう信じています。

ユニクロを展開するファーストリテイリングは「よい服をつくり、よい服を売ることで、世界をよい方向へ変えていくことができる」と考えています。世界共通の課題として解決に取り組むべきSDGsの目指す世界は、「服のチカラ」で世界をよい方向へ変えていくという私たちの理念に通じるものがたくさんあります。

正しい経営を行い、環境や社会に配慮した製品を開発し、それらを販売することで、持続可能な社会を実現することを目指しています。

私たちのSDGs・MLGs



「服のチカラ」で世界を良い方向へ変えていく

ユニクロは、シンプルで高い機能性を持つ、質の高い服をつくり、お客様に長くご愛用いただける服づくりに努めています。

良い服とは、見た目や機能性、価格のことではありません。私たちは、服をつくる過程で生地をムダにしない、原材料となる資源を有効に使う、工場では水や電気をムダにしないなど、環境のことを考えた服づくりに取り組んでいます。

さらに、お客様から寄せられたご意見を分析し、商品の細部に至るまで細かい改良を加えるとともに、生産数量の予想精度の改善や物流改革などにより、お客様が求める本当に良い商品を、必要な量かつ最適なタイミングでお届けし、生産や販売における無駄をなくす取組を進めています。

どうしても在庫として残った商品については、値下げや翌シーズン以降に持ち越すことによって最終的に全て売り切り、廃棄しない方針です。

【“届けよう、服のチカラ” プロジェクト（出張授業）】

ファーストリテイリングがUNHCRと取り組む、期間限定募集の参加型学習プログラム。

社員による出張授業を受けたのち、子どもたちが主体となって校内や地域で着なくなった子ども服を回収し、難民などの服を必要とする人々に届けられます。



【ユニクロ・ジュー 職場体験】



全国のユニクロ・ジューの店舗では、地域の学校を対象に、職場体験を通年で受け入れています。

ご希望の日程や目的に合わせて活動内容を組み立て、店長や店舗スタッフがしっかりとサポートします。

※ユニクロ公式サイトから引用

販売後の商品についても責任を果たすため、全商品を回収しリサイクル、リユースする取組「RE.UNIQLO」（リユニクロ）を進めています。
 今後も、服を無駄にしない取組を進めていきます。

本書に掲載しているSDGs・MLGs取組事例は、令和4年（2022年）12月～令和5年（2023年）2月に、近江八幡市ホームページ等を通じて事例募集を行い、皆様からご提供いただいた内容を掲載しています。

ご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

サステナブルな未来のために 2023 ～近江八幡市SDGs・MLGs取組事例集～

令和5年（2023年）3月

発行者：近江八幡市総合政策部企画課

〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236番地

TEL：0748-33-3111（代表）36-5527（直通）

FAX：0748-32-2695

協力：滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から



揮発性有機化合物の発生を抑えた植物油インキを使用し、
EPAのグリーン・ドラス基準に適合した地球環境にやさしい
印刷方法で印刷されています。
EPA 環境保護印刷推進協議会 <http://www.e3pa.com>

